

イエローキャップレポート

—沢田小学校3年生が商店街見学—

9月20日(木) 十和田湖町立沢田小学校3年生
17名の皆さんが、社会科の授業の一環として当商店街の見学に来てくださいました。



まず、イエローキャップ事務所内で、十和田市の商店街の成り立ちから現在の状況までを簡単に説明しました。生徒の皆さんはときおりメモを取るなどして、じっと説明に聞き入っている様子でした。

説明が終わり、次は班ごとに実際に商店に入って取材活動を行い、商品を守るための工夫やお客を呼ぶための工夫などを商店の方々に積極的に質問していました。



見学を終えて、担任の先生から子供達の感想を交えたお礼のメールを頂きましたので、一部紹介します。

子ども達に、活動後の感想を聞いてみたところ、今まで扉やドアを自分の手で開けてお店に入るといった体験が少なかったようで、「心臓がバクバクした」とか、「お店に入って、何と言ったらいいかわからなかった」という声が多く聞かれました。

子どもだけで専門店に入ったことがない沢田小3年の子ども達にとって、とってもよい体験になりました。また、商店街の存在を直接感じる事ができ、とっても有意義な一日となりました。

商店街や個店の売り出し、イベントなどがありましたら、どしどしサポートセンターまでお寄せ下さい。皆さんの情報お待ちしております。

TEL FAX 25-6885
e-mail yellowcap@mx5.et.tiki.ne.jp

まちづくり情報

200年10月12日
NO.11

発行・責任者
十和田市商店街
振興組合連合会
理事長 田中庸治

まちづくりアンケート実施

回収率 82.7% ~住民の意向調査第1弾~



かねてより計画しておりました街区住民及び商業者に対するアンケートが今回実施の運びとなりました。このアンケートは、十和田市が策定した中心市街地活性化基本計画の中で「街づくりを市民の手で」とうたわれているように、住民や商業者のボトムアップがキーポイントとなります。

イエローキャップではこれまで、当広報「まちづくり情報」や地域懇談会を利用しながら基本計画の意義を理解していただくべく活動してきましたが、まだ十分に理解していただいているとは言えないのが現状です。そこで今回、市商振連広報企画委員会と連携し、稲生町一丁目から八丁目までの街区内住民・商業者の意向調査をするため、アンケートの設問について設計をし、数回の練り直しの後、理事長会の承認を得て、まちづくりアンケートを実施することになりました。



配布の様子

アンケートはこの日程で実施され、イエローキャップスタッフが主旨を説明しながら直接手渡しする方法で配布しました。

今回の配布では、街区外の地権者及び夜遅く開店する飲食店の方達には直接手渡しすることができなかったのが、その点は次の機会に十分検討しながら対応しなければならないと考えています。



回収の様子

アンケート配布・回収数	
配布数 392軒	回収数 324軒
回収率 82.7%	

今回のアンケートでは、スタッフが回収に訪ねた際に「がんばりなさい」と激励して下さる方や、イエローキャップ事務局にアンケート用紙を直接持参して下さる方、自分で切手を貼って投函して下さる方などがおられ、大変励みになると共に、住民や商業者の皆さんの関心の高さが感じられました。皆様のご期待に添えるよう早く結果を発表したいと思っております。

皆様のご声援及びご支援に対し、この紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。

アンケート日程

アンケート配布期間 9月25日～9月28日
アンケート回収期間 10月1日～10月5日

平成13年度 タウンギャラリー事業 十和田会場展



11月1日より県内8市と三戸町で、「タウンギャラリー事業」が行われます。十和田市でも稲生町一丁目から八丁目までの商店に、「十和田市児童生徒発明くふう展」の絵画部門応募作品が展示され、商店街がギャラリーに変身します。小学生の自由な発想で描かれた楽しい作品をぜひご覧ください。